



初開催・大盛況！

「日本プリンアワード2022」11/5・6

岐阜といえばプリン！プリンといえば岐阜！

11月5日、6日の2日間、JR岐阜駅北口駅前広場にて日本プリンアワード実行委員会主催(協賛：ぎふ信長まつり実行委員会 岐阜市農業まつり実行委員会、後援：岐阜市／岐阜商工会議所)による、全国各地のプリン店20店舗が集うイベント「日本プリンアワード2022」が開催されました。

このイベントは、全国から選ばれたプリン専門店が岐阜に集結し「プリン日本一」を決める大会で、「岐阜をプリンの街にする」というテーマのもと、岐阜市の洋菓子店「プルシク」のオーナーシェフで実行委員会代表を務める所 浩史さんが音頭を取り初開催されました。「ぎふ信長まつり」と同日開催だったということもあり、会場の駅前広場は多くの人で賑わい、初日は14時頃に、2日目は午前中に各店舗が用意した全てのプリンが完売。累計販売個数は約2万個にのびりました。

初代グランプリには、白川郷ぶりの家(白川村)の「水ぶりん」が輝きました。世界遺産・白川郷の湧き水を使った透明感のあるプリンで、繊細で美しい見た目と、しっかりとした味わい・香りというギャップが高く評価されました。



「水ぶりん」白川郷ぶりの家(白川村)

銀賞には、料亭亭助六(大垣市)の「極なめらか」で濃厚なプリンに出汁でとったジュレが特徴の「料亭和プリン」、銅賞には、Totto PURIN(トットプリン、鳥取市)の、鳥取砂丘の砂をイメージした粉末カラメルをかけて食べる新感覚プリン「砂プリン」が選ばれました。



【料亭和プリン】料亭亭助六(大垣市)



【砂プリン】TottoPRIN(鳥取市)



日本プリンアワード実行委員会 代表 所 浩史さん

この大会は、プリンによる「岐阜の街の活性化」の推進や、プリンを活用した「岐阜の食育」・「地産地消」の一端を担っていくことを目標に開催いたしました。予想以上の反響で大変嬉しいです。多くの方に長い列を並んでいただき申し訳なく思っています。

来年、再来年と継続して開催し、毎年進化させながらもっと皆さん楽しんでいただける、スムーズにお買い求めいただける大会にしていきたいです。

来年以降も継続して開催することで、
食のブランド化による地域振興・経済活性化に繋がるよう期待します。



過去最多62万人が来場！ 3年ぶりに「ぎふ信長まつり」開催

岐阜のまちづくりに大きく貢献した織田信長公を称え、岐阜市中心市街地一帯で開催する岐阜市の秋の風物詩「ぎふ信長まつり」。令和2年、3年は新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から中止となりましたが、本年は11月5日、6日の2日間にわたり、「岐阜市産業・農業祭 ～ぎふ信長まつり～」として名称を新たに開催しました。

6日の「信長公騎馬武者行列」には、来年公開の映画『レジェンド&バタフライ』で主演を務めた木村拓哉さん(織田信長役)と共演の伊藤英明さん(福富平太郎貞家役)が出演し、開催前から大きな話題を集めました。当日の人は過去最多のおよそ46万人にのびり、事故防止の警備態勢が敷かれるなか、約1kmの区間を練り歩きました。

また、プリンによる街おこしを目指し、ぎふ信長まつりとあわせてJR岐阜駅北口の駅前広場で初開催した「日本プリンアワード2022」においても、用意した商品が連日完売となり、多くの来場者でにぎわいました。

移動販売車「あおぞら delica」も出店！

11月5日、岐阜高島屋西側の金華橋通りで行われた「岐阜城戦国絵巻」のストリートイベントの一環として10台のキッチンカーが集まり、多彩な食で来場者のお腹を満たしました。

当所の移動販売車にて出店した「生餃子専門店 新助」は、人気No.1の「新助焼き餃子」と好評で通年販売となった「しそ焼き餃子」を販売しました。



生餃子専門店 新助 北洞千鶴さん

新助の美味しい餃子をたくさんの人に知っていただきたくて出店しました。天気にも恵まれて、多くの方に来ていただきました。新助を知っていただくいいきっかけになりました。お帰りの際に「美味しかったよ」と声をかけてくださるお客様もいて嬉しかったです。キッチンカーで新助の餃子の美味しさをどんどん広めていきたいと思っています。



野菜多めで皮はもちもちバリバリ。ニンニクがほどよく効いているのに食べてもおいしが気にならない。

